



杨益
天津音乐学院附中古筝专业副教授

古筝硕士，天津音乐学院附中古筝专业副教授。自幼随母亲天津音乐学院民乐系古筝专业教授王小月习筝。1987年考入天津音乐学院附中，师从著名古筝教育家王小月老师；1993年保送至天津音乐学院，大学期间被学校派送至上海音乐学院深造学习，师从著名古筝教育家、演奏家孙文妍、何宝泉两位老师；1997年毕业即留天津音乐学院附中古筝专业任教；2001年考取硕士研究生，随中央音乐学院著名古筝教育家、教育家李萌老师攻读硕士学位。2014年4月在香港大会堂举办古筝讲座。2016年1月担任“青乐杯”第二届两岸三地青少年古筝比赛评委。

天津音乐学院杨益古筝乐团

来自天津音乐学院的多位古筝专业学习者组成的古筝乐团，其中成员曾是“青乐杯”古筝比赛的获奖者。她们平均年龄不到17岁，但都是从小开始学习古筝的优秀学生，她们将来也会继续从事古筝的演奏与教学工作，希望这次有意义的日本交流活动，能丰富她们的演出经历，学习到不同地域的多样的文化，也为中日友好做出贡献。

北京古筝教师：温若妮



青年古筝演奏家、中央音乐学院古筝专业硕士研究生、中国民族管弦乐学会会员、中国民族管弦乐学会古筝考级考官。中国音乐金钟奖和“文华艺术院校奖”比赛优秀奖获得者。曾成功在全国各地举办多场个人古筝专场音乐会。出版的个人专辑有DVD《经典现代作品赏析》《温若妮古筝独奏、协奏音乐会暨研究生毕业音乐会》，教学DVD《温若妮主讲：古筝考级经典曲目讲解与示范》。2016年7月任“青乐杯”第四届香港国际青少年民族器乐大赛古筝组评委。

温若妮筝乐团

温若妮筝乐团成立于2012年，有来自北京重点学校的中小学生，还有音乐学院的大学生、研究生们，更有历届“青乐杯”比赛的获奖选手。为参加此次交流活动大家精心排演了多首古筝乐曲，让我们一起期待吧……



安徽古筝教师：赵文轩

现任教于阜阳师范学院附中古筝专业导师，中国音乐家协会古筝学会会员、中国民族管弦乐学会会员，中国民族器乐学会理事，自幼学习古筝，先后师从古筝演奏家谢迎春、赵星、李庆丰、程皓如、周望。高考时以古筝(单科)全省第二名的优异成绩考入淮北师范大学音乐学院古筝专业。在大学四年中，古筝专业皆排名第一。2007年大学期间被选送到法国~德国~奥地利参加艺术文化交流。2007年获全国第三届艺术人才推选大赛青年专业组银奖。2015年8月28日举办赵文轩古筝独奏慈善音乐会。

赵文轩筝乐团

成立于2012年，是由赵文轩组建并担任团长兼艺术总监，现有团员20余人，成员有在校的专业学生，古筝专业青年教师组成，乐团以为专业学生、青年教师创造更多艺术实践机会为宗旨，通过大量舞台历练，不断提高团员的演奏水平并深化对音乐内涵的感悟，振兴和发展中国古筝艺术，弘扬民族文化，为中华民族的精神文明和谐构建贡献力量，同时肩负起推广、普及、弘扬、传承古筝艺术的使命。



北京青乐文化发展有限公司
“青乐杯”-系列艺术活动组委会
国家工商行政管理总局注册艺术活动品牌(第13902279号)
香港知识产权署注册艺术活动品牌(第303050450号)



“青乐杯”系列艺术活动，于2012年在香港特别行政区设立，已成为香港特别行政区政府知识产权署注册艺术活动品牌。截止于2015年，“青乐杯”已成功组织了十余届赴香港、台湾、日本、韩国等地的民族音乐赛事等交流活动，数千名中国内地及港澳台、海外地区的青少年民乐爱好者和专业学员参与其中。

作为后起之秀的“青乐杯”系列艺术活动，多年来不断积极活跃在国际及港澳台地区，广邀名师举办各类艺术活动，在海外华人中树立中国民乐的新形象，与广大的艺术爱好者们共同成长，通过长久不懈的努力已成为值得信赖的艺术品牌。

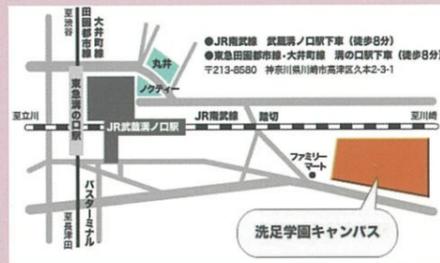
艺术比赛最重要的是她的专业、公平、独立。“青乐杯”作为非官方的独立艺术赛事运营机构，从创立至今，未曾接受过任何单位或个人的金钱赞助，所接受过的实物赞助全部用于活动的奖品并在现场发放给参加者；所收取的参赛费用，全部用于比赛活动的各项开销，略有盈余也将继续用于推广民族音乐及公益事业。

每当见到往届的参赛选手在自己的简历中写下“青乐杯”比赛的成绩，就更加感到所肩负的责任。所以我们要做长久的比赛，不断的提高所获奖项的含金量，不断的增加光彩，不让奖项在岁月中暗淡。在此，请允许我们引用中央音乐学院章红艳教授在“2015年青乐杯琵琶比赛”中的一句话讲话：“我们是在比音乐、我们也在比水准……”

“青乐杯”系列艺术活动组委会
2016/8

中国内地: 地址:北京西城区茶马北街1号院,2-1-1525 电话:010-63323250 手机:186 0026 3533 E-mail: cynm@vip.163.com	中国香港: 香港新界沙田坳背湾街30-32號華耀工業中心2樓2-U室 +852 3586 1899 官网: www.cynm.org
---	---

洗足学園音楽大学
Senzoku Gakuen College of Music
〒213-8580
神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1



交通案内:
東急田園都市線・大井町線「溝の口」
JR南武線「武蔵溝ノ口」下車徒歩 8分

東京都武蔵村山市立小中一貫校
村山学園
〒208-0012
東京都武蔵村山市緑が丘1460番地



交通案内:
西武鉄道拝島線「玉川上水駅」徒歩20分
多摩都市モノレール「桜街道駅」徒歩10分
立川バス停「団地入り口」より徒歩2分
(玉川上水駅より村山団地行きに乗車5分)



中国筝乐团 in 日本

TOKYO-2016

中日青少年芸術交流出演
Art performance communication

箏の演奏会 2016/8.19 金

洗足学園音楽大学 10:30開演

東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園 14:00開演

都合により、曲目を変更する場合がございます。

主な演奏曲

漁舟唱晚

千鳥の曲

ヤオ族舞曲

春の海

ビートルズメドレー

櫻花(さくら)

絆(茉莉花)

尾上の松

太鼓合奏

他

洗足学園音楽大学現代邦楽研究所

東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園「箏クラブ」

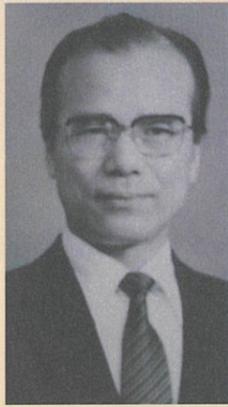
桜蘭音楽 日本楼兰音楽企画

在日中国古筝艺术家学会

“青乐杯”艺术活动组委会

中国-北京青乐文化发展有限公司

后援：中华人民共和国驻日本大使馆文化部



作曲家：眼龍義治

1937 富山県高岡市生まれ
 1960~1964 東京芸術大学音楽学部作曲科に行って、作曲を池内友次郎、島岡 譲、三善 晃。指揮を渡辺暁雄。箏・三弦を上木康江の諸氏に師事する。(箏・三弦は1970まで引き続き個人指導を受ける)
 1968~1999(学法)学園尚美学園にて後進の指導に当る。
 1999~2006(NPO) 邦楽教育振興会理事兼 事務局長
 2001~ 現在 教育出版(株) 中学校音楽教科書「楽器」の執筆・編集に携わる。
 2001~ 現在 品川区立全小・中学校(53校)にて箏の体験授業を担当。

箏の師、故上木康江氏との約束であり、教科書執筆の関連でもあるので、小・中・高校生の為の和楽器合奏曲の作・編曲をライフワークとしている。

指導者：増田康乃

1992年より東京都小学校音楽教員(24年目)
 同年箏に出会い、伝統楽器の大切さを子供たちに伝えるべく、授業に取り入れる。
 2001年、学年を超えたクラブ活動を始める。
 16年目を迎え、現在部員23名により活動している。

田邊史織(尺八)

身崎有希子(箏・三弦)

幼少より母の指導により箏に触れ、その後箏・三弦を山田ミサ、深海さとみ、白木啓之の各氏に師事。
 平成13年 東京芸術大学音楽学部邦楽科箏曲専攻(生田流)卒業。
 芸大時代の同期生によるグループ「奏士会」を結成、日本各地で定期演奏会を行っている。
 国内外において多数演奏活動を行う。
 現在「邦楽教室優音」講師。
 各地の小・中学校等で邦楽の教育・指導にあたる
 宮城会、明弦会、深海邦楽会、秀恵会、森の会に所属。
 生田流箏曲宮城社師範。



松澤佑紗(箏曲家)

東京藝術大学、大学院修士修了。
 宮内庁主催御前演奏会出演。(於：皇居桃華楽堂)
 IMF 世界銀行総会、外務省日露青年交流事業 日本代表として選出・派遣され演奏する。
 世界経済フォーラム(通称ダボス会議) グローバルシェイパーズに選出され演奏する。
 東京拠点として、国内外問わず演奏活動する。



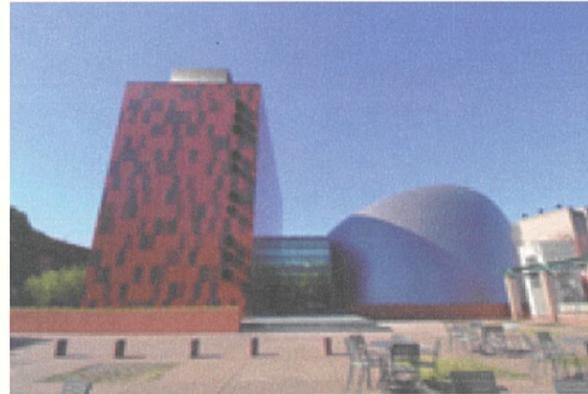
森重行敏

洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。
 在学中よりインドネシアのガムラン音楽演奏活動を開始。
 1985年国立総合児童センター開館にあたり音楽講座の企画・運営。
 児童合唱曲の編曲、刊行多数。
 1995年現代邦楽研究所開設にあたり理論系主任。
 2014~15年国立劇場公演専門委員。
 現在、洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長。
 洗足学園音楽大学客員教授。
 東京芸術大学、桐朋学園芸術短期大学、尚美学園大学講師。
 NPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。

洗足学園音楽大学_現代邦楽研究所

現代邦楽研究所は、新しい邦楽専門の教育研究機関として1995年に開設、2005年より洗足学園音楽大学の付属機関となりました。
 多くの人達が日本音楽について正しい知識と豊かな音楽性を身につけ、演奏、創作、教育、研究、プロデュースなど様々な分野において音楽文化に貢献できる人材を育成することを目的に設立されました。
 日本音楽を広い視野で捉え、また、伝統を踏まえた上で、これからの日本音楽の発展の可能性を探求しています。斬新なカリキュラムや実験的手法を用いた画期的な試みの教育プログラムにより、増々多様化し、変化の速度が増しているこの時代に素早くかつ柔軟に対応し活躍する人材を国内外に大勢、輩出しています。



洗足学園シルバーマウンテン(右)の全景



箏の演奏風景



シルバーマウンテン内部



過去の演奏会

東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園「箏クラブ」

- ※ 東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園「箏クラブ」
- ※2001年 小学校において4~6年生を対象に課外クラブ活動を始める
- ※2014年、小中一貫校となり、4年生から9年生までメンバーが広がる。
- ※原則週2回の練習を行い、学年末に定期演奏会を実施する(2016年3月 15回定期演奏会実施)
- ※武蔵村山市民音楽祭にもほぼ毎年出演し、好評を博している。



企画人：苏宇虹 日本楼蘭音楽企画

原中国广播艺术团民乐团首席古筝演奏家。在团期间,参加了大量广播,电影,电视,唱片,录音录像及国内外公演等工作。曾参加的高胡(王国潼)扬琴(丁国舜)古筝“三重奏”组所演奏的“雨打芭蕉”,“孔雀飞舞”,“京郊行”,“美丽的壮锦”等名曲,一直是乐团优秀保留节目。多次参加全国优秀节目调演及国家重要外事任务的演出;屡次被中国广播电视部派遣出访欧亚诸国公演,受到国内民乐界,港澳国乐界高度关注。1986年赴日本留学,东京桐朋学园大学音乐学部作曲系入学。攻读现代作曲法,受教于著名音乐教育学家末吉保雄教授。1988年(中韩未建交)受“中国广电部”海外直接派遣,作为中国音乐家代表,首次访韩,参加韩国国立国乐院音乐厅落成典礼:“亚洲传统艺术节”为题音乐会。中国古筝在韩首演,受到官方媒体高度重视,以重要新闻报道。同年,应日本NHK电视台邀请,为高收

收视率“汉诗纪行”节目录制古筝配乐。
 1991年,在东京参加“箏・创作比赛”,自作自演现代箏曲荣获前卫派箏曲作品奖。国内音像公司多次出版。
 1992,93年应日本现代作曲家协会之邀,先后在日本,香港参加亚洲作曲家现代作品音乐会,演出前卫古筝协奏曲(日本,香港爱乐乐团协奏)
 1993年~每年定期在“东京艺术剧场”等音乐厅举办“苏宇虹中国古筝的世界”,“中国古筝的魅力”为题独奏音乐会,培养了众多古筝“粉丝”。受到日本各大报界,华人媒体的注目,多次专题采访并连续报道
 1995年被日本著名“鬼太鼓座”音乐总监邀请为“特约外国人演奏家”,与太鼓座,在东京著名“三得利”大音乐厅及日本各都市,海外等一流音乐厅同台巡回演出上百场。广泛扩大了在中国古筝的影响。
 1996,97年,先后受“日本音乐集团”,NHK电视台之邀,与著名邦乐家共同为“超级歌舞伎大师”市川猿之助主演的著名歌舞伎音乐录音;并为NHK新年晚会电视直播节目,与日本、韩国演奏家同演。
 1999年,应日本国际交流基金会邀请,为“中国30年代上海无声电影节”东京放映周,独自即兴演奏古筝配乐,博得主催,观众高度赞赏。
 2000年,应邀参加日本著名作曲家三木稔(已故)为音乐总监的“向亚洲展开KOTO・箏”专场音乐会,与著名日本箏乐团同台共奏新作,展示了中日箏的不同音色及手法。
 2005年,应邀在东京歌剧城,仙台,大阪与二胡名家闵惠芬共演高胡,古筝二重奏“渔舟唱晚”等曲。
 2003,09,10年,先后应邀参加了NHK“中国語講座”音乐专题节目的演奏;冲绳“传统音乐节”;韩国“中,日,韩,蒙,民族乐器竞演”音乐会。并应邀与“演剧界”,“汉诗歌咏界”及“爵士乐”,“古典吉他”等艺术家同台合作公演。同时还应日本唱片公司之邀,先后录制日本名曲,古筝名曲CD专辑。
 2005年,逐渐重点转向音乐教学,曾组织日本学生参加国际古筝比赛,并获得奖项。2007年以来,分别在韩国首尔,中国香港担任国际古筝大赛评委。



苏宇虹老师与青乐杯主办方袁玮先生合影(2016.3-东京)



第一排の中間：眼龍先生、右2：指導者増田先生、左2：校長、左1：増田先生の師匠